

令和7年度中丹地域保健医療協議会・中丹地域医療構想調整会議合同会議 概要

- (1) 医療法等の一部を改正する法律の概要について<資料1>
 - ・改正の概要及び新たな地域医療構想策定ガイドラインについて説明

- (2) 京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）の振り返りについて<資料2>
 - ・京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）のH29.3策定時からの状況の変化について報告
 - ・人材確保は引き続き厳しい状況であり、人口減少や高齢化が進む中、医療ニーズの変化に対応する必要がある。

- (3) 2040年を見据えた地域包括ケアのあり方について<資料3>
 - ・重点地域（福知山市）の検討状況や今後の進め方について説明

- (4) 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について<資料4>
 - ・京都府立医科大学猪飼准教授から説明
 - 【主な意見等】**
 - ・在宅看取りについて、開業医に任せるのは難しいのではないかと（准教授）24時間対応ではなく、予定される看取りは日中の対応等でニーズに対応する必要がある。
 - ・独居高齢者が増加してくる中、看取りは介護施設や医療機関との連携等が重要

- (5) かかりつけ医機能報告制度の協議の場について<資料5>
 - ・3月までの各医療機関の報告に基づき、協議の場を検討する。
 - 【主な意見等】**
 - ・協議の場は、中丹単位ではなく市単位がよいのではないかと。
 - ・地域密着型がかかりつけ医機能を持ったほうがよいのではないかと。（事務局）御意見を伺いながら検討したい。

- (6) 外来医療における紹介受診重点医療機関の現況等<資料6>
 - ・現在公表している3病院について、来年度の公表について意見を伺う。（市立福知山市民病院、舞鶴医療センター、舞鶴共済病院）
 - 特に意見等なく、3医療機関の公表について了承

- (7) 管内病院 変更事項について<資料7>
 - ・京都ルネス病院の病床機能変更について

看護師の人手不足により病床運営の適正化を図るため、急性期・回復期病棟を急性期病棟に統合する。

病床機能区分は京都方式により回復期で変更はなく、地域医療にも影響はない。

【主な意見等】

- ・看護師確保は厳しい状況にあり、府全体で取り組む支援策が必要
→事務局) 引き続き取り組みを検討していきたい。

→今回の変更は問題がないことで確認・了承

(8) 舞鶴市公的4病院の再編及びそれに伴う対応について<資料8>

- ・各病院本部と協議を進めており、基本事項の合意形成を目指している旨の説明
- ・地域の医療提供体制の維持に向け、国制度の活用も含めて支援が必要

(9) 重点支援区域について<資料9>

- ・複数医療機関の医療機能再編等事例を対象とする重点支援区域の概要について説明

→中丹区域を重点支援区域として申請することに合意

(10) 中丹地域保健医療計画 推進状況について<資料10>

- ・概ね計画どおり進捗しており、引き続き各事項の対策に向けた取り組みについて御協力いただきたい。